

VI 用語集

※文中の下線部は、用語集に掲載されている言葉を表しています。

用語	説明
ア行 雨水貯留施設	集中豪雨などの雨水が下水管きょや河川に短時間に集中することを抑えるため、学校のグラウンドや公園、駐車場などを活用し、雨水を一時的に貯留する施設です。
援農ボランティア	後継者不足や高齢化による人手不足に悩む農業者をサポートする農作業のボランティア活動です。
大阪湾フェニックス計画	近畿圏(2府4県168市町村)から発生する廃棄物の最終処分により埋立を行う計画で、このうち尼崎沖埋立処理場では、埠頭用地、港湾関連用地など計113haの土地利用を計画しています。
オープンスペース	建物が建っていない視覚的に広がりのある土地のことです。公園緑地、広場、河川、農地などがあります。
屋外広告物	看板、広告塔などで、屋外で常時もしくは一定期間表示されるものです。
力行 街区公園	1箇所当たり0.25haを標準として、主に250mの範囲内に住む人の利用を想定した公園です。
海洋性地震(プレート境界型地震)	海のプレートが陸のプレートの下に沈み込む時、陸のプレートの先端が巻き込まれ、反発力によって跳ね返ったときにプレート境界で発生する地震です。
環境負荷	人間の活動が地球環境に与える負担のことです。
環境保全協定	法令の規制を上回る自主的な環境保全対策を事業者に促すため、大規模な事業所が集中して立地している地域において、地元市町の要請に基づき、県、市町及び主要事業所で結ぶ協定です。
緩衝帯	火災の延焼を防ぐために設けられた緑地などを指します。
緩衝緑地制度	操業環境と住環境双方の保全のため、工業地域内に住宅を建てる際に、敷地の境界に沿って幅6m以上かつ事業地面積の25%以上の緑地を整備すること等を定めた本市独自の制度です。尼崎市住環境整備条例で規定しています。
幹線道路	都市の骨格になる道路網を形成する道路です。そのうち主要幹線道路とは、主に都市間を連絡する道路です。
管路のループ化	管路事故などによる水道の断水や減水の状態を避けるために、輪になるように管と管をつなぎ、一部の水道管が破損しても別の経路から水を送れるようにしておくことです。
既成市街地	産業又は人口が相当程度集中し、 <u>都市施設</u> の整備や <u>土地の高度利用</u> などの市街地としての開発が既に行われている地域です。
既存ストック	整備済みの道路や公園などの都市施設や住宅などの建築物をいいます。
緊急物資輸送路	大規模な災害が発生した際に、緊急に支援物資などを円滑に輸送できるように指定された高速道路や国道、これらを連絡する幹線道路です。
近自然工法	地球環境や自然生態系に配慮した河川の護岸などの整備方法です。
近隣公園	1箇所当たりの広さが2haを標準として、主に500mの範囲内に住む人の利用を想定した公園です。
区画道路	沿道の宅地利用の機能を重視した道路です。

参考資料

用語	説明
景観計画	地域の特性にふさわしい良好な景観を形成するための方針や、建築物の景観に対する規制誘導の基準などを定めた計画です。本市では「尼崎市都市美形成計画」を定めています。
建築基準法第22条区域	屋根や外壁などを燃えにくくすることで、延焼拡大を防止するためのもので、本市は全市域が指定されています。
建築協定	住宅地としての環境の維持増進などを目的に、対象となる区域の関係権利者全員の合意により建築物や構造、用途などのルールを建築基準法に基づく協定として結ぶものです。
広域防災帯	火災の延焼を防止し、避難者を炎や熱から守る避難路の確保を目的として整備される公園緑地、燃えにくい建築物から構成される道路を含めた空間で、本市では国道43号、国道171号、山手幹線、五合橋線、山陽新幹線、武庫川、猪名川、藻川が指定されています。
降雨強度	瞬間的な雨の強さのことで、降っている雨がこのままの強さで1時間降り続いた場合に相当する雨量です。
公共岸壁	船舶が係留できて人や貨物の積み降ろしができるようになっている港湾施設です。
公共建築物	国や地方公共団体などが設置し、事務などを行うために使用する建築物や、広く一般市民が利用する建築物です。(例:市役所、支所、消防署、図書館、学校など)
工場等制限法	「首都圏の既成市街地における工場等の制限に関する法律」(1959年)と、「近畿圏の既成都市区域における工場等の制限に関する法律」(1964年)の2つを総称したもので、都市部に設けた制限区域内に一定面積以上の工場(原則1,000㎡以上)等の整備を制限するもので、本市の臨海工業地以外は制限区域に指定されていましたが、平成14年(2002年)に廃止されています。
公設地方卸売市場・ 中央卸売市場	公設地方卸売市場:地方公共団体などが都道府県知事の許可を受け開設する卸売市場のうち一定規模以上の卸売場の面積を有する市場です。 中央卸売市場:都道府県、人口20万人以上の市などが、農林水産大臣の認可を受けて開設する卸売市場です。
交通結節機能	ターミナルにおいて、鉄道と鉄道あるいは鉄道と車両交通(バス、タクシー、マイカー)など、複数の交通機関と相互に連絡できる機能です。
交通広場	道路、鉄道などに接続して設けられ、主として集中する歩行者、自動車などの交通を適切に処理する広場です。交通広場のうち、鉄道駅前にある広場を一般的に駅前広場と呼びます。
交通容量	道路がどれだけの自動車を通すことができるのか、構造上有している能力です。
高度処理	通常の下水处理より高度な処理方法で、富栄養化の原因となる窒素やリンなどを除去する処理方法です。
公有水面	河、海、湖、沼その他の公共のために使われる水流または水面で、国が所有するものです。

参考資料

用語	説明
合流式(下水道)・ 分流式(下水道)	合流式下水道:汚水と雨水を同じ管きよで下水処理場まで流す下水道です。 分流式下水道:汚水と雨水を別の管きよで流し、汚水は下水処理場へ、雨水は川や海に直接放流する下水道です。
港湾緑地	港湾区域に設置される緑地で、水際の景観整備や港で働く人、近隣住民の休息といった日常利用のほか、大規模災害発生時の避難スペース、緊急物資の一時保管などの役割をもった緑地です。
<small>こせんきょう</small> 跨線橋	鉄道をまたぐ橋です。
コミュニティ活動	地域の方々が力を合わせて課題解決などに取り組む市民活動のことで、地域のつながりや地域への愛着を育む活動を総称したものです。
コミュニティ道路	通過交通を抑制し修景を行うことで、歩行者などが安全かつ快適に通行できるように整備した道路です。
サ行 再生可能エネルギー	有限で枯渇の恐れがある化石エネルギーなどに対し、自然環境の中で繰り返し起こる現象から取り出すエネルギーのことで、太陽光、風力、地熱、バイオマスなどを利用したエネルギーがあります。
最低敷地面積	ゆとりある住環境を保全するための基準で、尼崎市住環境整備条例により、用途地域ごとに戸建・長屋住宅の敷地面積の最低限度を定めています。
3R	Reduce(リデュース・減らす)、Reuse(リユース・繰り返し使う)、Recycle(リサイクル・再資源化)の頭文字からなるごみを減らすための考え方を示すもので、優先順に並んでいます。
自光式広告物	LED など自ら発光する広告物です。
持続可能	人間活動、特に文明の利器を用いた活動が、将来にわたって持続できるようにする考え方です。経済や社会など人間活動全般に用いられますが、特に環境問題やエネルギー問題について用いられます。
指定管理者	行政が期間を定めて指定する公共施設の管理を行う民間事業者です。指定管理者は施設の使用許可などの一定の権限を有します。
自転車レーン・ 自転車道	自転車レーン(自転車専用通行帯):車道の左側端に自転車専用の通行帯が設けられた道路の部分のことです。車道を通行する自転車は、このレーン(通行帯)を通行しなければなりません。 自転車道:自転車の通行の用に供するため、縁石や柵などで区画された道路の部分です。自転車道が整備された道路では、自転車は自転車道を通行しなければなりません。
市民農園・ 体験型市民農園	市民農園:農地を借りて農業者以外の方がレクリエーションや自家用野菜の生産などを目的とし、野菜や花を育てるための農園です。 体験型市民農園:農地所有者の指導の下、農作業を体験し、作った野菜などを購入することができる農園です。
住環境整備事業	住環境や防災面で問題を抱える地区において、道路、公園などの整備のほか、良質な住宅の建設などを総合的に行い、住環境の改善や防災性の向上を図る事業の総称です。

参考資料

用語	説明
(尼崎市)住環境整備条例	良好な住環境の形成のため、民間開発の事前協議、紛争の防止、大規模開発事業の構想段階での届出制度などの手続き、地区計画策定時の市民参加の手続き、住宅の最低敷地面積など住環境の向上に必要な事項を定めた条例です。
住宅市街地総合整備事業	既成市街地において快適な居住環境の創出、都市機能の更新、美しい市街地景観の形成、密集市街地の整備改善などを図るため、住宅や都市施設の整備などを総合的に行う事業です。
住宅地区改良事業	不良住宅の密集などにより、住環境に課題がある地区において、生活道路、児童遊園などの公共施設を整備し、従前居住者のための改良住宅の建設などにより、地区の住環境の整備改善を図る事業です。
重要港湾	国際海上輸送網や国内海上輸送網の拠点となる港湾として政令で定める港湾で、尼崎西宮芦屋港が指定されています。
循環型社会	廃棄物の発生抑制や製品の効率的な再利用などによって、天然資源の消費量が抑えられ、環境への負荷ができる限り低減された社会です。
(尼崎市)商業立地ガイドライン	P 参-5「関連計画」参照
消防水利	消火栓、防火水槽、プール、河川、溝、濠、池、海、井戸など、消防の用に供し得る水利施設です。
親水空間	水や川などに気軽に触れることができ親しみを深めることができる水際の空間です。
生産年齢人口	労働力の中核をなす 15 歳以上 65 歳未満の人口です。
生産緑地地区	P 参-8 尼崎市の都市計画の概要」参照
生物多様性	自然生態系において多様な生命が豊かに存在していることです。
ゼロメートル地帯	平均満潮時の海水面より土地の高さが低い地域です。
専門家派遣	まちづくり協議会など、まちづくりに取り組む団体などへの技術的な支援や活動のサポートのため建築士などの専門家を派遣する制度です。
総合的な治水対策	河川の氾濫などの水害を未然に防ぎ、被害を最小限にとどめるため、河川や下水をスムーズに流す対策に加え、水を貯める施設や雨水が染み込む施設を置くなど、雨水を一時的に蓄える対策のほか、浸水に関する情報提供や浸水被害の軽減のための体制整備など、事前に備える総合的な対策です。
第1線防潮ライン	津波が起こった場合、津波被害を減らすために整備している防潮堤などのことです。
耐震性緊急貯水槽	災害時に水を貯めておくことができるタンクを兼ねた水道管のことで、通常は新鮮な水道水が流れていますが、地震などがおこると貯水槽と配水管が弁で遮断され、貯水槽内の水が飲料水として確保されます。
多重性	いくつかの代替案や代替措置をあらかじめ準備しておく考え方です。
地形地物	土地の地形や道路、建築物、河川、植生などの地物の総称です。
治水機能	河川の氾濫などによる水害を防ぐための機能です。
昼間人口	昼間に従業者や通学者を含め、その地に活動している人の人数です。

夕行

参考資料

用語	説明
駐車場整備地区	自動車が混雑する商業地で、駐車場の整備を促進し円滑な道路交通を確保するために指定する地区です。
長寿命化	既存の施設を出来るだけ有効に長く活用する考え方です。
直下型地震	プレート同士がぶつかりあい活断層がずれたり、プレート内で地震断層が発生することで起きる地震です。
低水護岸	堤防内の河川敷が流水や雨あるいは波の作用によって浸食されないよう、河岸にコンクリートブロックや自然石を設置した構造の護岸です。
低炭素社会	地球温暖化問題に対処するため、省エネなどの取組が進み、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が抑えられた社会です。
透水性舗装	雨水が地面に染み込みやすい舗装です。
特殊道路	歩行者や自転車など、自動車以外の交通のために利用される道路です。
都市機能	商業・業務、住宅、工場などによって担われる都市が有する様々な働きやサービスをいいます。
都市基盤	道路や公園、下水道などの施設に、ガス、電気などのエネルギー供給施設、学校や病院などを含めた生活に必要な公共施設の総称です。
都市計画区域	人口など一定の要件を満たし、都市として整備や保全をする必要がある区域を指定するもので、尼崎市は市域全域が都市計画区域になっています。
都市施設	道路、公園、下水道、河川、鉄道など都市活動に必要な基盤的な施設の総称です。
都市防災構造化計画	避難地や避難路など必要な施設を位置づけて、災害に強い構造の都市にするための計画です。その内容は、地域防災計画に盛り込まれています。
土地の高度利用	道路など都市施設が一定整備されており、有効な空地や一定規模以上の敷地を確保することで中高層建築物など階数の高い建築物を建築し、土地を効率的に利用することです。
ナ行 内陸部工業地土地利用 誘導指針	P 参-5「関連計画」参照
南海トラフ巨大地震	日本列島の太平洋沖にある「南海トラフ」沿いの広い震源域で連動して起こると警戒されているマグニチュード(M)9級の巨大地震です。
ハ行 ハザードマップ	自然災害による被害を予測してその被害範囲を示した地図です。
バリアフリー	高齢者や障がい者が社会生活を営む上での障壁(バリアー)をなくすことです。段差解消など物的なことから、意識上のもや制度的なものの解消も含まれます。
阪神間都市計画区域の 整備、開発及び保全の 方針	P 参-5「関連計画」参照
BCP(事業継続計画)	大規模災害などが発生した場合でも、事業に与える影響をできるだけ小さくし事業を継続、又は早期に復旧させることを目的に予め策定しておく事業計画です。
PDCA サイクル	P(計画)、D(実施及び運用)、C(点検及び是正措置)、A(見直し)のサイクルを回しながら継続的に施策や事業の改善に取り組む仕組みです。

参考資料

用語	説明
ビオトープ	様々な生き物が互いにつながりを持ちながら生息することができる環境を備えた場所を指すものです。
兵庫県版レッドデータブック	兵庫県が絶滅のおそれのある野生生物などをリストアップして、その現状をまとめたものです。
(都市)防火区画	火災による被害を最小限にするため、河川、 <u>幹線道路</u> や緑地、燃えにくい建築物群などにより区画することです。
防災街区整備地区計画	密集市街地において、建替などを通して道路空間を確保しながら、燃えにくい建築物へと変え、火災の延焼を防止し、通行路を確保して地区の防災性を高める地区計画です。
防災拠点	災害時に救援物資の配給、安否情報の確認、避難などの防災の拠点となる場所です。
マ行 まちづくり協議会	地区の住民や地権者などで構成され、その地区のまちづくり課題に取り組むための組織です。
まちづくりルール	まちづくり協議会などの住民団体が主体となって、独自に決めた地区の将来像や方針などを踏まえて、建築物の高さや水路や樹木の維持管理、まちなみの保全などを定めているものです。
密集市街地	道路や公園などが十分に整備されず、木造の建築物が密集し、地震時などの火災発生時に大きな延焼被害が想定される市街地をいいます。
(尼崎市)密集市街地整備・改善方針	P 参-6「関連計画」参照
ヤ行 夜間人口	その地に常に住んでいる(寝泊まりしている)人数です。
ユニバーサルデザイン	障がいの有無、年齢、性別、人種などに関わらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方です。
容積率	建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合です。
ラ行 ライフライン	快適な都市生活をおくるために不可欠なもので、生命線となる電気、ガス、水道、通信、輸送などのサービスを供給する施設を指します。
リーディングプロジェクト	目的の実現のために先導的、戦略的に取り組むプロジェクトです。
立体交差化	道路もしくは鉄道を高架化あるいは地下化し、交差部の踏切をなくして立体的に交差させることです。
流域下水道	市町村の枠を越え、2以上の市町村の下水を広域的かつ効率的に排除、処理するものです。
臨港地区	港を管理運営するために定められる地区です。
臨港道路	港湾法によって定められている港湾内あるいは港湾と周辺の公道を結ぶ道路です。
六樋	中世末から近世初期にかけて整備された取水のための樋門(ゲート)で、野間井(富松井)、生島井、武庫井、水堂井、守部井、大島井の6つの水系に農業用水を供給する施設を指します。
ワ行 ワークショップ	計画策定の際など、参加者が自由に意見を出し合うことで各人の思いや考えを共有化する会議の仕組みで、近年、様々な地域のまちづくりで活用されています。